

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	れもんキッズ石井		
○保護者評価実施期間	令和6年11月18日		～ 令和6年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	令和6年11月18日		～ 令和6年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月25日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育活動の内容や実施した際の利用児の様子について、保護者へ積極的に伝えている。	療育活動について、活動の内容やねらいなどを作成し、利用日に保護者に見てもらえるようにしている。また、実施した時の利用児の様子を含め、成長が感じられることについても記載し、保護者に伝えられるよう工夫している。	療育活動の内容をより充実させるため、研修に積極的に参加したり、職員間で勉強会を実施したりする。
2	中学年、高学年になってからの必要な支援ができる。	学年が上がってくるにつれて出てくる課題について、その時に必要な支援をリアルタイムにできるようにしている。保護者から家庭や学校での様子を聞き取り、事業所としてできることを常に取り組めるようにしている。	小学校卒業に向けた必要な課題について、療育活動に取り入れ、継続した支援ができるようにしていく。
3	集団での療育活動を実施している。	小集団での療育活動を実施し、他児との関わりの中で学べる機会を提供できるよう工夫している。	さらに充実した療育活動を実施できるよう、活動内容の検討や研修の実施に取り組んでいく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	受け入れが小学校6年生までしかない。	事業所としての方針が決まってしまうため、保護者のニーズがあってもなかなか改善することが難しい状況にある。	小学校を卒業してからの支援に対するニーズも高く、利用児にとって中学校からの支援の提供も必要であると感じる。事業所としての方針を検討していく。
2	基本、自宅間の送迎がない。	現在は、家庭の都合でどうしても保護者による送迎が難しい場合、個別で対応しているが、全員の送迎を実施すると、対応できる職員数が揃っていない。	自宅間の送迎について、必要に応じ実施できるよう職員数の検討と、実施について可能な状況を検討していく。
3	ST、OTなどの専門性を持った職員がいない。	現在は、同法人に在籍しているSTや公認心理士の協力は得ているが、専門性を持った職員の求人などがなく、事業所としての対応はできていない。幅広い求人の仕方をして、専門性を高めるための取り組みができていない。	専門性を持った支援を可能にするため、専門職の雇用を検討していく。